

JIS

安全標識－ 避難誘導システム（SWGS）－蓄光式

JIS Z 9095 : 2011

(JSAA/JSA)

平成 23 年 1 月 20 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 基本技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	今井 秀孝	独立行政法人産業技術総合研究所
(委員)	大井 みさほ	東京学芸大学名誉教授
	尾島 善一	東京理科大学
	中村 祐二	学校法人自由学園
	奥山 正二	社団法人日本産業機械工業会
	小松原 仁	財団法人日本色彩研究所
	岩本 佐利	社団法人日本電機工業会
	徳岡 直静	元慶應義塾大学
	永井 克尚	財団法人日本規格協会
	八木 隆義	社団法人日本鉄鋼連盟
	大谷 吉生	金沢大学

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 23.1.20

官 報 公 示：平成 23.1.20

原 案 作 成 者：社団法人日本保安用品協会

(〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-15 和光湯島ビル TEL 03-5804-3125)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1571)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：基本技術専門委員会 (委員長 今井 秀孝)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 蓄光式 SWGS の計画	3
4.1 一般	3
4.2 構成要素の選択	4
5 蓄光式 SWGS に関する基本原則	4
5.1 設計目標	4
5.2 非常口の図記号及び矢印の首尾一貫した明確な使用	6
5.3 様々な視覚的な要素を用いたレイアウトの諸原則	8
6 蓄光式の安全標識, 誘導ラインなどに固有の要求事項	10
6.1 一般	10
6.2 蓄光式の安全標識, 誘導ラインなど	10
6.3 蓄光式の安全標識, 誘導ラインなどのりん光輝度	11
6.4 低い設置場所の蓄光式の誘導ラインの幅	12
6.5 照明の要求事項	12
6.6 照度及びりん光輝度の検証	13
6.7 文書化及び業務日誌	13
6.8 点検及び保守	13
附属書 A (参考) 蓄光式 SWGS のレイアウトの事例	14
附属書 B (規定) 照度計 (特定計量器) を用いたりん光輝度の測定方法	22
附属書 JA (参考) JIS と対応国際規格との対比表	23
解 説	26

まえがき

この規格は、工業標準化法第 12 条第 1 項の規定に基づき、社団法人日本保安用品協会（JSAA）及び財団法人日本規格協会（JSA）から、工業標準原案を具して日本工業規格を制定すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が制定した日本工業規格である。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

安全標識—避難誘導システム (SWGS) —蓄光式

Graphical symbols—Safety signs— Safety way guidance systems (SWGS)—Phosphorescence type

序文

この規格は、2004年に第1版として発行されたISO 16069を基に、我が国の実情を勘案し、技術的内容を変更して作成した日本工業規格である。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。それらの変更事項、理由説明などの一覧表を、**附属書 JA** に示す。

1 適用範囲

この規格は、不特定多数の人が出入りするデパート、ホテル、スーパーなどの商業施設、事務所、工場などの業務施設、娯楽施設、地下施設のある建造物、連絡通路を含む地下駅舎、地下街などの建物内の照明及び誘導灯が停電などで使用できなくなったとき、その建物からの避難を容易にするために設置する蓄光式の避難誘導システム（以下、蓄光式SWGSという。）について規定する。蓄光式SWGSに用いる蓄光式の安全標識、誘導ラインなどは、誘導灯及び誘導標識に代わって設置されるものではなく、誘導灯及び誘導標識に追加して設置されるものである。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 16069:2004, Graphical symbols—Safety signs—Safety way guidance systems (SWGS) (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、ISO/IEC Guide 21-1に基づき、“修正している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS C 1609-2 照度計—第2部：取引又は証明用

JIS Z 8210 案内用図記号

JIS Z 8716 表面色の比較に用いる常用光源蛍光ランプD₆₅—形式及び性能

JIS Z 9101 安全色及び安全標識—産業環境及び案内用安全標識のデザイン通則

注記 対応国際規格：ISO 3864-1, Graphical symbols—Safety colours and safety signs—Part 1: Design principles for safety signs in workplaces and public areas (IDT)

JIS Z 9103 安全色—一般的事項

JIS Z 9107 安全標識—性能の分類、性能基準及び試験方法

ISO 7010, Graphical symbols—Safety colours and safety signs—Safety signs used in workplaces and public